



2024年5月11日  
第172号

# JR 東労組 Yokohama

JR 東労組横浜地本  
発行人 助川一実  
編集 情宣担当  
ホームページ  
<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



## イーハトーブ

5月10日号

5月3日、日本国憲法施行から77年目を迎えた。今ほど日本国憲法、取り分け第9条に基づく政治を実現していくための実践が私たち一人ひとりに求められる。

ロシアとウクライナの戦争は泥沼化しパレスチナ占領を続けるイスラエルによるガザ攻撃に対し日本国憲法を掲げた日本が世界の戦争を止めるべきだが、その日本は積極的に戦争をする国に向かっていく。防衛費はGDP比2%5年間で43兆円まで拡大し世界第3位の軍事大国にのし上がりつつある。その背景にあるものは、安倍晋三首相（当時）が米国トランプ大統領（当時）と約束した対外有償軍事援助（FMS）がある。この「FMS」は、米軍の最新兵器を購入できる反面、米国の言い値で買い付けを迫られる米国のための契約なのだ。何より第一は米国優遇政策。そして、議論もなしに注がれる私たちの血税。これが安部晋三の10年、引き継がれた岸田内閣の真実なのだろう。評論家佐高信さんの「佐高信の昭和史」から引用する。…「信の世界に詐欺多く、疑いの世界に真理多し」 福沢諭吉の学問のすゝめの言葉である。物事を無批判で信じ込んでいく社会にはウソと偽りが蔓延り、疑いの目を凝らしている社会は真理が発達していく。真面目な市民の意識には「騙す人は悪人で、騙される人は善人、騙される人に罪はない」と言われるが、それは違う。騙される根拠は無知、迂闊、思慮が浅いということである。騙されないために真実を見抜く、疑念があることに考える。声を上げる…。今の私たちに問うべき言葉だ。2025年の10月までに衆議院議員を選ぶ機会が必ず来る。45%の有権者が棄権している現実を変えていくための運動を開始しよう。(K.S.)

イーハトーブとは

「注文の多い料理店」や「雨ニモマケズ」などの著者として有名な宮沢賢治による造語です。故郷の岩手県をモチーフとし、彼の心の中にある理想郷を示す言葉です。

社会に目を向け、新しいものを積極的に取り入れ、農民の生活向上のために最後まで尽力した宮沢賢治の生き方に学びながら、私たちが外に目を向け、私たちが安心して働き暮らせる理想郷を実現していこうという思いを込め、イーハトーブというタイトルで情報発信を行っていきます。